

保険薬局における採血結果より検査項目依頼・処方提案し化学療法に貢献できた症例 ～抗EGFR抗体薬による低Mg血症～

株式会社クリエイトエス・ディー クリエイト薬局旭二俣川店
○川上ありす, 田中翔馬, 松本光司



背景

近年、がん化学療法の多くが外来化学療法へ移行し、がん患者に対して来局時に限らず保険薬局による継続的な服薬支援が必要となっている。また、処方箋に検査値を記載する病院も増えており、薬局薬剤師も検査値による薬学的介入が求められている。今回、パニツムマブ(以下P-mab)施行中の大腸がん患者の来局時に持参した採血結果の低Ca血症から、P-mabの副作用である低Mg血症発現の可能性をトレーシングレポート(以下TR)にて報告、化学療法に貢献した事例について症例報告を行う。

症例

患者:70代 男性
病名:StageIV大腸がん、肝転移、左鼠径部リンパ節転移
レジメン名:FOLFIRI + P-mab
既往歴:2型糖尿病
内服薬:ミチグリニドCa・OD錠10mg、
インスリンラルギンBS注ミリオペン

臨床経過

8コース目day1

項目	検査値
血清K	4.5 mEq/L
血清Ca	7.7 mg/dL ⇒ 補正Ca:8.0 mg/dL (Grade1)
血清Alb	3.7 g/dL
BUN	8.9 mg/dL
血清Cre	0.66 mg/dL

処方内容	
フロセミド錠 20mg	1錠 分1
スピロラクトン錠 25mg	2錠 分1
トルバプタン錠 7.5mg	1錠 分1(2日おき)
ミノサイクリン塩酸塩錠 50mg	2錠 分2
ヘパリン類似物質軟膏 0.3%	25g塗布

8コース目day8 電話にて聴取しTR提出

・電解質異常
補正Ca値 8.0 mg/dL(Grade1)であり、倦怠感、手足の震え、動悸はなく経過良好であることを確認した
P-mab 投与中のため Ca低下に伴い低Mg血症になっている可能性も高いと考えた

・皮膚障害:爪囲炎 Grade 1、皮膚乾燥 Grade 1

・胃腸障害:悪心・嘔吐 Grade 0、口腔粘膜炎 Grade 0、下痢 Grade 0

提案⇒ 血清Mg値の測定、低Mg血症の場合はMg補充

低Mg血症	嘔気、嘔吐、食欲不振、脱力感、筋肉の痙攣、ふるえ、不整脈 など
低Ca血症	嘔吐、下痢、手指のしびれ、唇のしびれ、全身痙攣、不整脈 など
低K血症	筋力の低下、筋肉痛、筋肉の痙攣、麻痺、自律神経失調 など

9コース目day1

項目	検査値
血清K	4.5 mEq/L
血清Ca	6.6 mg/dL ⇒ 補正Ca:7.1 mg/dL (Grade2)
血清Alb	3.5 g/dL
BUN	7.6 mg/dL
血清Cre	0.65 mg/dL

Mgの採血結果はなく、以下の処方が追加

乳酸カルシウム 1g/包 3包 分3

9コース目day8 電話にて聴取しTR提出

・電解質異常
補正Ca値 7.1mg/dL(Grade2)のため、乳酸カルシウムの処方あり
倦怠感、手足の震え、動悸はなく経過良好であることを確認した
P-mab 投与中のため Ca低下に伴い低Mg血症になっている可能性も高いと考えた

・皮膚障害:爪囲炎 Grade 1、皮膚乾燥 Grade 1

・胃腸障害:悪心・嘔吐 Grade 0、口腔粘膜炎 Grade 0、下痢 Grade 0

8コース目と同様に低Mg血症の可能性を考え再度提案
⇒ 血清Mg値の測定、低Mg血症の場合はMg補充

9コース目day13 来院指示あり受診

自覚症状はなし
採血施行、血清Mg 0.6 mg/dL(Grade 4)
心電図検査を行い、異常ないことを確認
硫酸マグネシウム40mEq 投与

10コース目day1

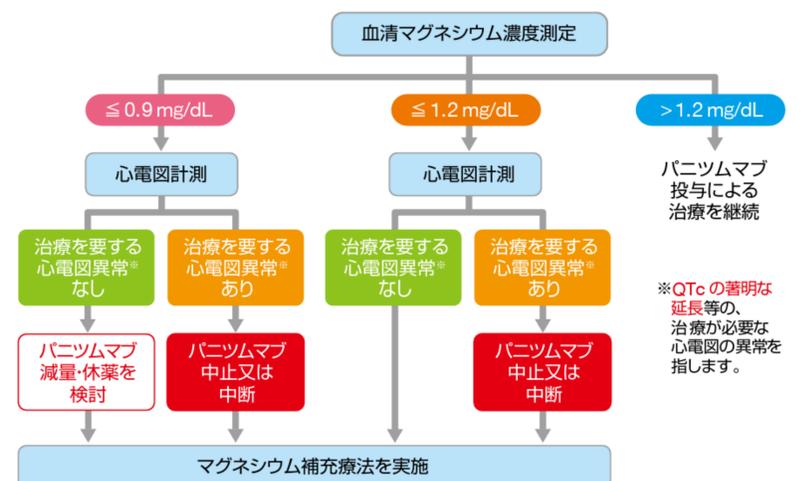
Pmab 中止、FOLFIRIのみで10コース目施行
酸化マグネシウム330mg 3錠分3 追加処方

12コース目day1

血清Ca: 9.6 mg/dL、血清Mg: 1.6 mg/dL まで上昇 Pmab 再開

⇒ 現在も血清Mg濃度の測定、硫酸Mgを補充を行いながら治療継続中

低マグネシウム血症に対する対処フローチャート



参照:ベクティビックス適正使用ガイド

考察・今後の展望

- ・電解質異常を確認しTRで報告することによりGrade4ではあったが自覚症状はなく現在も治療を継続することができている。
- ・薬局薬剤師も内服の抗がん剤だけではなく、点滴の抗がん剤に対しても検査値をフォローすることが重要である。そのためには点滴の抗がん剤の知識も必要になる。
- ・検査値聴取、定期的なテレフォンプォローアップによるTRは、がん化学療法を継続する上で有益である。

利益相反がない場合

JASPO-COI 様式2

利益相反開示事項
所属:クリエイト薬局 旭二俣川店
筆頭発表者: 川上 ありす

私は本演題発表に関連して、
開示すべき利益相反はありません。